

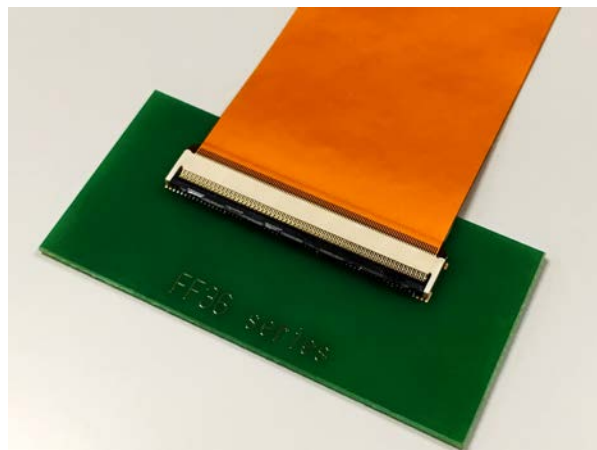
0.20 mm ピッチ低背 FPC 用コネクタ

FF36 Series【上下接点タイプ】

 Fujikura

概 要

FF36 シリーズは、0.2mm ピッチ、高さ 0.95mm
120 芯まで対応する多芯対応 FPC コネクタです。



特 長

- ◆弊社独自のカム式バックロック採用により、確実な作業が行なえます。
- ◆コンタクト接点は、上下接点です。
- ◆FPC を上方向に引張り上げても、ロックが開きません。
- ◆ニッケルバリアの採用により、はんだ上がりを防止しています。
- ◆ロック解除状態で納入の為、作業前にレバーを開く必要がありません。
- ◆ハロゲンフリー対応可能

注意 ※ FPC を挿入しない状態でロックレバーを閉じないで下さい。

用 途

携帯電話、ノート PC, PDA, 小型モバイル機器

仕 様

定格電圧	AC 50V (r.m.s.)
定格電流	0.2A / コンタクト
耐電圧	AC 200V(r.m.s.) / 1 分間
絶縁抵抗	DC 250V で 50 MΩ以上
接触抵抗	80m Ω以下

材 質 / 表面処理



部 品 名	材質/表面処理
コンタクト	銅合金 / Ni 下地 Au フラッシュめっき
ハウジング	LCP 樹脂 (UL94V-0) / アイボリー
レバー	PPS 樹脂 (UL94V-0) / 黒色

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

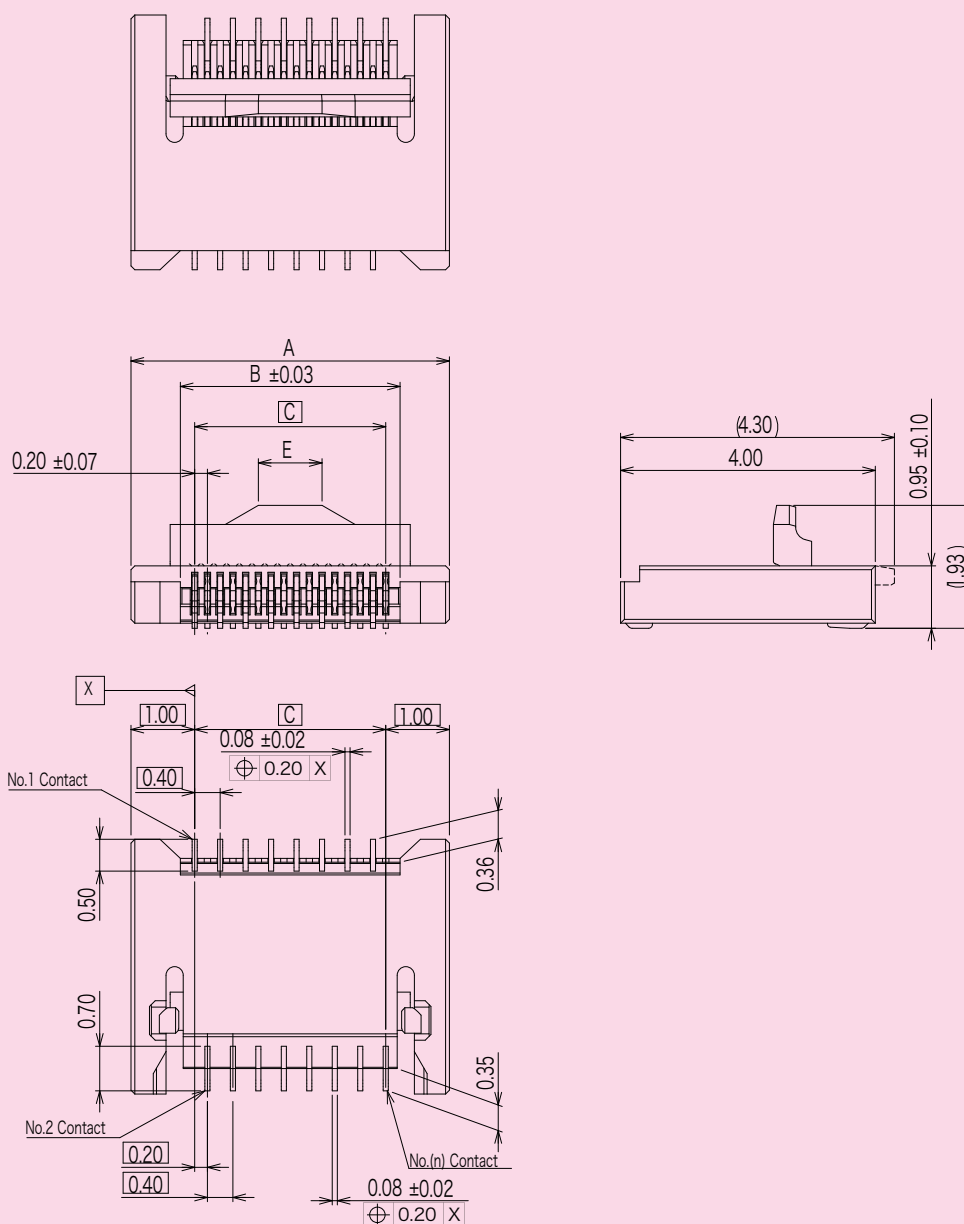
▶ 0.20mm ピッチ FPC コネクタ【上下接点タイプ】

FF36- □□ A-R21B-3J

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①シリーズ名	FF36
②芯 数	表-1 参照
③接点形状	A：上下接点、適合 FPC 厚：0.15±0.02mm
④コンタクトスタイル	R：ライトアングル
⑤コンタクトテール長さ	2：奇数端子 0.50mm、偶数端子 0.70mm
⑥コンタクト表面処理	1：Ni 下地 / Au（フラッシュ）めっき
⑦ロックレバー形状	B：ロングタイプ
⑧材料	3J：ハロゲンフリー、PFAS フリー

◆外形寸法

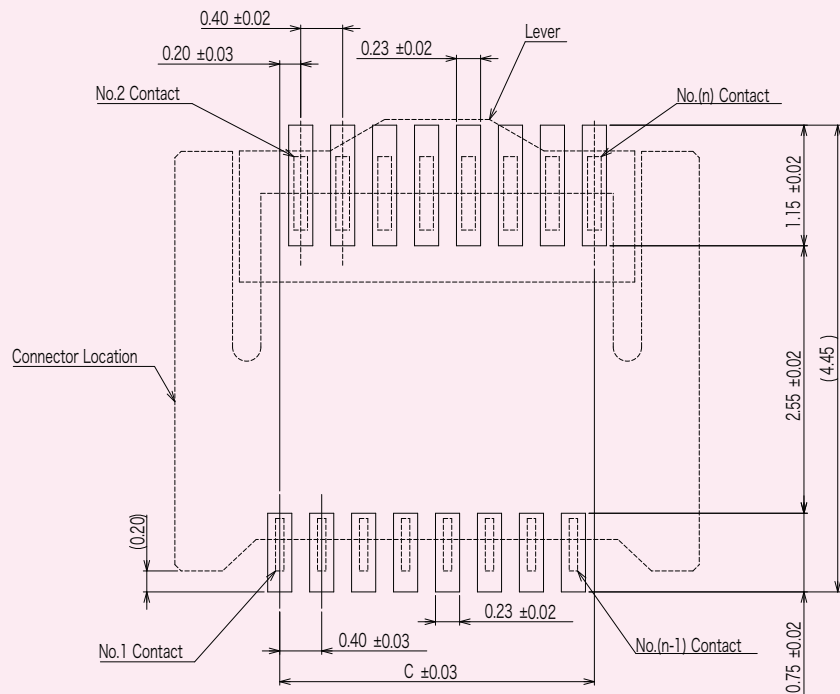


©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

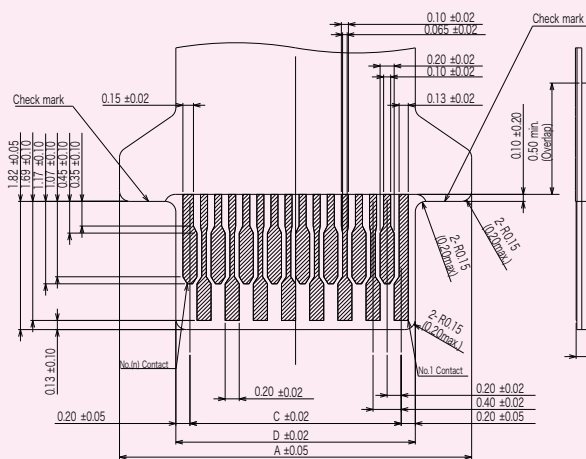
▶ 0.20mm ピッチ FPC コネクタ【上下接点タイプ】

◆ 推奨基板取付寸法



◆ 適合 FPC 寸法

上接点の場合



下接点の場合

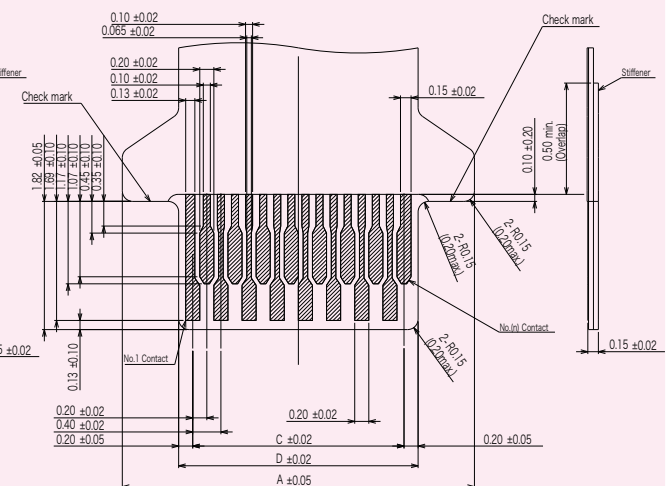


表-1

品 名	芯 数	A	B	C	D	E
FF36-120A-R21B-3J	120	25.80	24.28	23.80	24.20	20.00

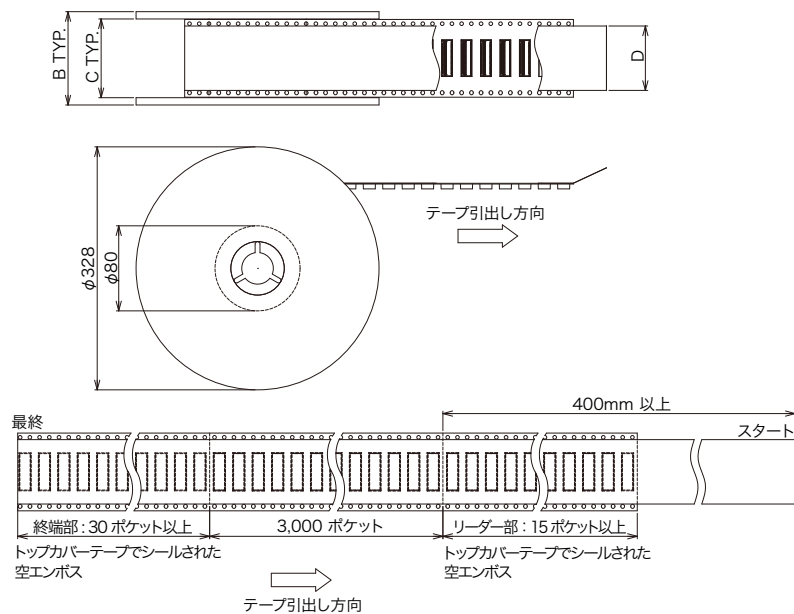
◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

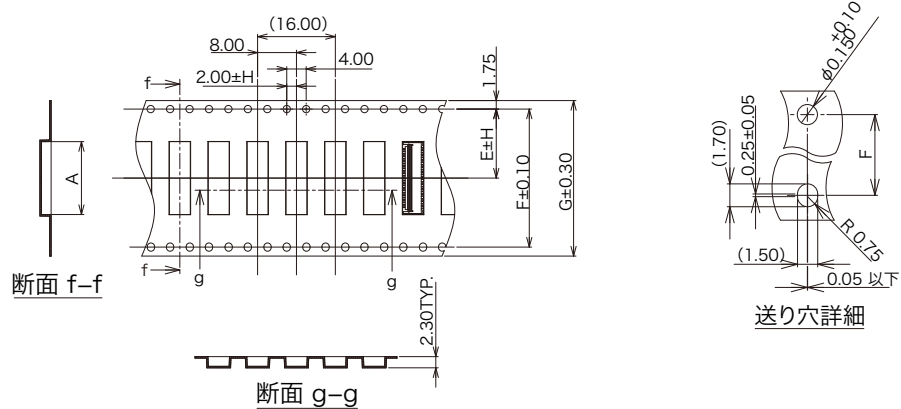
梱包仕様

リール状態寸法図



エンボスキャリアテープ寸法図

◆ Type 2



品 名	芯 数	A	B	C	D	E	F	G	H	Type
FF36-120A-R21B-3J	120	26.10	50.4	44.4	38.5	20.2	40.4	44.0	0.15	タイプ 2

梱包単位：3,000 個 / リール

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

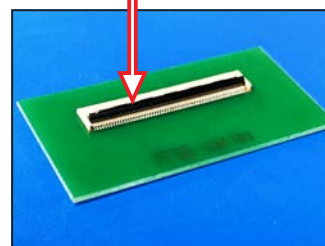
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

1. コネクタ実装状態

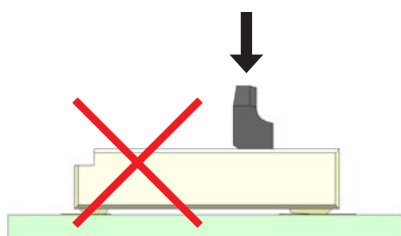
- ・ロックレバー開放状態での納入となりますので、F P Cを挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。(写真①)
- ・ロックを閉じた状態でリフロー実装をしないで下さい。

納入時のロックレバーは解放状態です

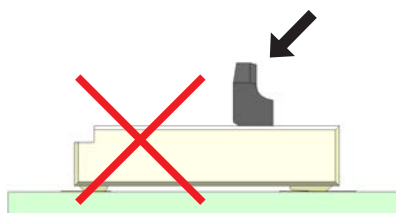


写真①

- ・ロックレバー真上から、荷重をかけないで下さい。(図①)
- 又、反ロック方向に荷重をかけないで下さい。(図②)
- ロック破損、もしくは端子変形の原因となります。



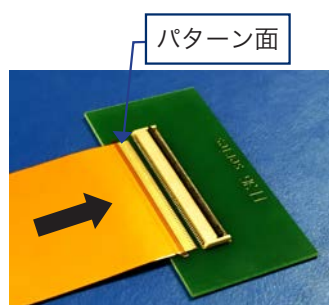
図①



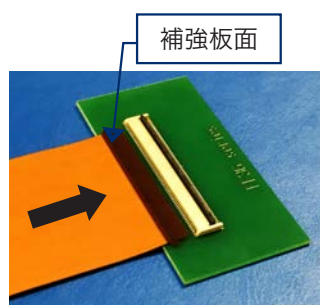
図②

2. FPC 挿入方法

- ・F P Cをコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。(写真②、写真③)
- F P C仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。
- F P Cがしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



写真②



写真③

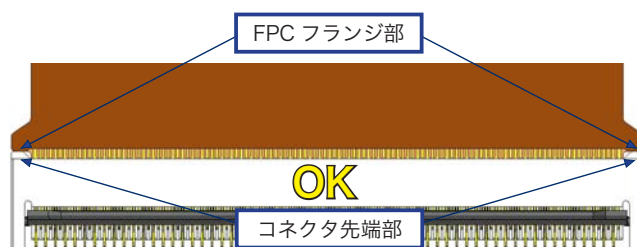
◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

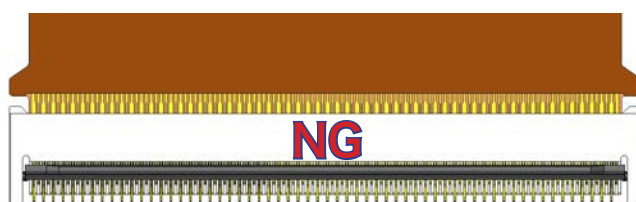
コネクタ操作方法と注意点

3. FPC 確認方法

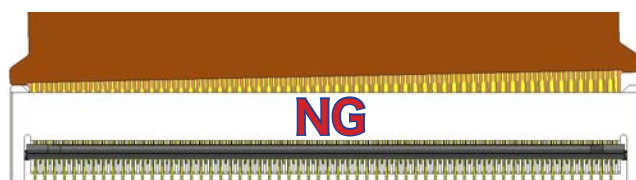
- ・ FPC フランジ部をコネクタ先端部に突き当てることにより、浅挿入・斜め挿入を確認・防止することが出来ます。(図③、図④、図⑤)



図③：正常挿入状態



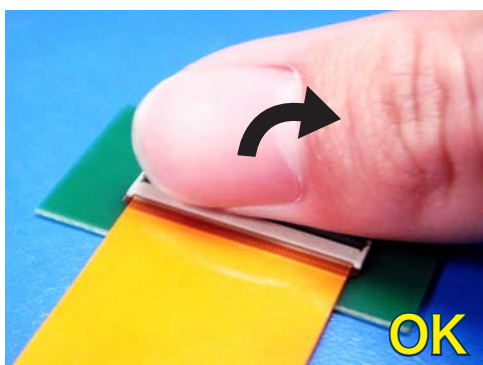
図④：浅め挿入状態



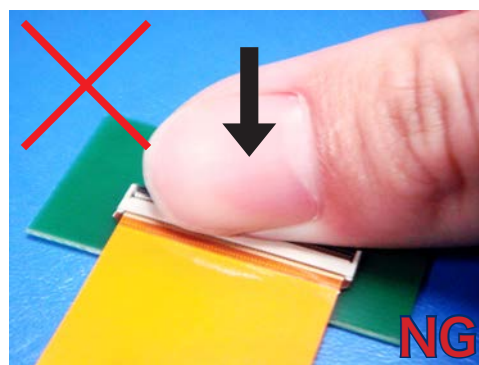
図⑤：斜め挿入状態

4. ロック方法

- ・ 回転させる要領で、ロックレバーを押し下げます。(写真④)
- ・ その際に、ハウジングに無理な力をかけないように注意して下さい。(写真⑤)



写真④



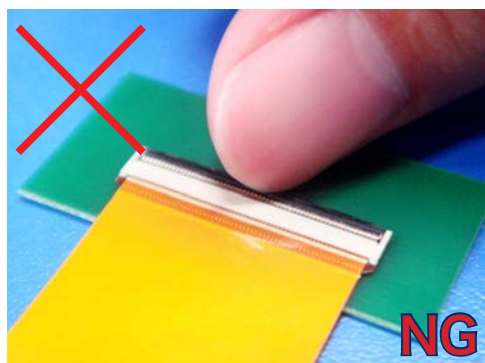
写真⑤

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

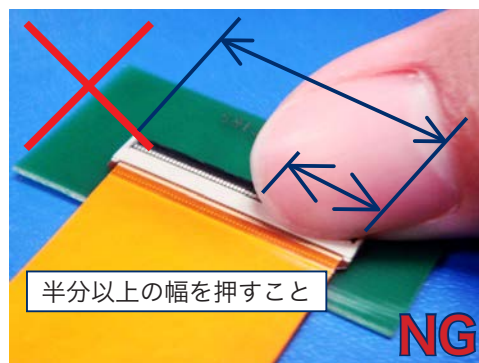
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

- ・爪の先端でロックしないください。ロック破損の原因となります。(写真⑥)
- ・ロックレバー端部をロックする場合は、少なくともロックレバー全幅の半分以上の幅を押して下さい。(写真⑦)



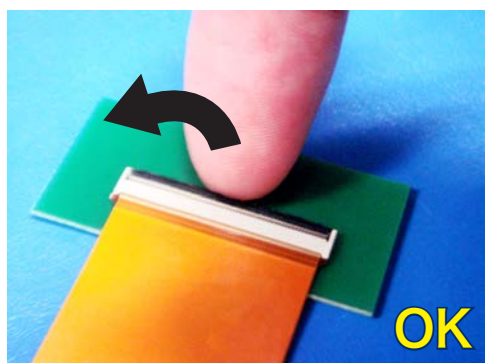
写真⑥



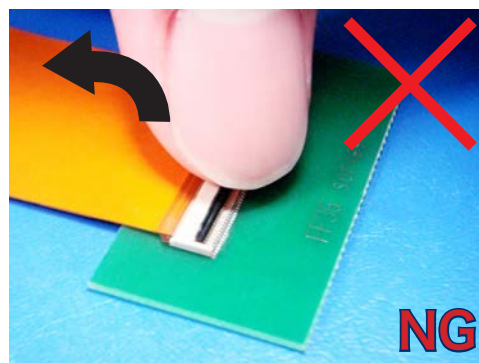
写真⑦

5. FPC 抜去方法

- ・ロックレバーを矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。(写真⑧)
- その際に、必要以上の力をロックレバーにかけないように注意して下さい。(写真⑨)



写真⑧



写真⑨

6. ESD(静電耐電圧)

本コネクタは、ESD 対策をしておりませんので、取扱時には注意して下さい。

7. コネクタ廃却方法

産業廃棄物として処理して下さい。

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>